



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2011年（平成23年）10月25日号 No. 1543

目次

■被災地企業が描く今後のロシアビジネスビジョン.....	熊谷 大樹 1
■トピックス	7
コマツ、ロシア極東の大学と提携／7	
山形県がハバロフスクで商談会／7	
北海道でロシアビジネス支援組織が発足／7	
■エトセトラ	7
『調査月報』2011年11月号のご案内／7	

被災地企業が描く今後のロシアビジネスビジョン

宮城県経済商工観光部

海外ビジネス支援室海外ビジネス支援班

主事 熊谷 大樹

はじめに

宮城県では、去る9月27日（火）、モスクワ日本センターにおいて、ロシアNIS貿易会および宮城県の共同主催による宮城県震災復興支援セミナーとして、「日露貿易促進セミナー from宮城～被災地企業が描く今後のロシアビジネスビジョン～」を開催し、県内企業2社および県から、日本企業とのビジネスに関心をもつロシア企業担当者に対してプレゼンテーションを行った。今回は、開催したセミナーと、それに付随して現地で実施した参加県内企業の商談や現地視察について、その概要を報告したい。

1. 宮城県のロシアビジネスを取り巻く環境

宮城県では、平成18年12月に策定した「みやぎ国際戦略プラン」に基づき、県内企業の海外ビジネスを積極的に支援しており、ロシアにおいて、香港・台湾を含む東アジア地域とともに、重点的な取組みを続けてきた。具体的には、平成18年6月の極東ロシア調査事業を皮切りに、極東やヨーロッパロシアにおいて、見本市出展や商談会の開催を行ってきた。また、平成22年5月には、ニジェゴロド州との間で、「協力に関する協定」を締結し、